

古いにしえの音を聴いてみよう!

国立国会図書館のデジタルコレクションには、1900年から1950年ごろに国内で製造されたSPレコードのデジタル化音源、約48,700音源がアーカイブされています。

れきおんサイト れきおんサイトでは約48,700音源のメタデータと保護期間切れの約1,400音源が公開されています。

<http://rekion.dl.ndl.go.jp/>

おすすめ公開音源

チェロ独奏：夜曲（コロムビア、1942）

作曲：尾高 尚忠、チェロ：倉田 高
天折のチェリスト倉田高（1913-1945）による演奏。東京音楽学校卒業後、フランスの名チェリスト、モーリス・マレシャルに師事。倉田のチェロは昭和17年5月の「音楽公論」で「実に独奏家的な表情力に富んでいる…熱情にまかせて弾きまくる傾向がある」と評された。

勝利の記録（一）開戦—十二月八日—（ニッタク）

「臨時ニュースを申し上げます」で始まる、昭和16（1941）年12月8日の太平洋戦争開戦を伝えるニュース音源。

祇園小唄（ビクター、1930）

唄：藤本 二三吉（ふじもと ふみきち）
昭和5（1930）年のサイレント映画「祇園小唄絵日傘」の主題歌。各節は「祇園恋しや だらりの帯よ」で締めくくられ、舞妓が唄の主題である。京舞井上流による振り付けがなされ、現在でも祇園で舞われる演目のひとつとなっている。

歌劇「ラ・ボエーム」第一幕 冷たい手を暖めませう（コロムビア）

歌：藤原 義江（ふじわら よしえ）
「我等（われら）のテナー」と呼ばれた藤原義江による歌唱。藤原義江は浅草オペラを経て渡欧、昭和6（1931）年、パリのオペラ・コミック座で「ラ・ボエーム」に出演した。海外一流オペラ座での日本人男性主演としては初であったといわれる。藤原歌劇団を設立し、日本でのオペラ普及に多大な功績を残した。

演説：普通選挙について（コロムビア、1928）

演説：尾崎 行雄
明治23（1890）年第1回総選挙から昭和27（1952）年まで連続25回当選した政治家、尾崎行雄による演説。第一次護憲運動の先頭に立ち「憲政の神髄」と呼ばれた。

講演：連合艦隊解散式訓示（上）・（下）（コロムビア、1933）

朗読：東郷 平八郎
主に明治期に活躍した海軍軍人。日露戦争で連合艦隊を率いてロシアのバルチック艦隊を壊滅させたことで有名。連合艦隊解散式は明治38（1905）年に行われたが、レコードは東郷平八郎の晩年、昭和8（1933）年2月18日に東郷邸で録音されたもの。（下）では有名な「古人曰く勝て兜の緒を締めよと」で締めくくられている。

高田の馬場（ビクター、1929）

浪花節：（初代）春野 百合子
初代春野百合子は、大正から昭和の初めにかけて女流の第一人者の一人として関西、関東で活躍した。美声である上に筋づかいやセリフ、口調も運者。迫力のある芸の持ち主。「高田の馬場」は赤穂義士の一人、堀部安兵衛の若き日の物語。

線香花火（ビクター、1953）

作曲：宮城 道雄、箏：宮城 道雄
宮城道雄による箏曲。宮城道雄は幼少期に失明、生田流箏曲を学ぶ。14歳で「水の変態」（図書館館内限定音源）を作曲。「春の海」は海外でも評価された。西洋音楽の要素を邦楽に導入する「新日本音楽」運動等で功績を残した。

津軽弥三郎節（青森県民謡）（キングレコード、1954）

唄：成田 雲竹
唄は、津軽民謡の父とも呼ばれた成田雲竹（うんちく）。成田雲竹（1888-1974）は、警察官の職を経て民謡の道に入る。津軽三味線の名手、高橋竹山（ちくざん）とのコンビで津軽民謡を全国に広めた。